

機械器具 12 理学診療用器具  
一般医療機器 再使用可能な止血帯 17230000

## TAQ ストラップ

再使用禁止

## 【警告】

- 2時間以上連続して使用しないこと [四肢の切断、神経障害を与える可能性がある]
- 本品を解除する際は、原則、医療の管理下で行うこと [再灌流による不整脈、または心停止、神経障害、深部静脈血栓症、筋力低下が起こる可能性がある]
- 装着状態を定期的に確認すること [圧迫に伴う疼痛、末梢部の阻血の可能性がある]

## 【禁忌・禁止】

- 小児以下に対して使用しないこと
- 再使用禁止

## 【形状・構造及び原理】

## 1. 形状・構造等



番号	名称	機能又は動作
1)	レッグストラップ	ラチエット機構を備えた止血帯。
2)	スタンドアロンストラップ	TAQストラップをベルトに装着する際に使用する。上部ストラップと、スロットが付いた下部ストラップから構成されている。

〈付属品：ドロップレッグプレート〉

- ・ダイナミック・ドロップレッグプレート



- ・ミッドライド・ドロップレッグプレート



## 2. 原理

本品はラチエット機構を備えた止血帯である。止血時に正確に制御しながら圧力を加えることができ、止血効果を維持しながら止血帯を最適な締め付けレベルで固定できる。ラチエットにはクイックリリースメカニズムが組み込まれており、出血が止まったら、止血帯を迅速かつ安全に取り外すことができる。

付属品のドロップレッグプレートを使用することで、銃器、テザーホルスター、懐中電灯などを取り付けることができる。

## 【使用目的又は効果】

上下肢（腕又は脚）に装着して、循環の抑制及び遠位部への正常血流を遮断する。

## 【使用方法】

## 1. 装着前準備（右脚に用いる場合のみ行う。）



- ナイロンベルトをスタンドアロンストラップのスロットの切れ目から取り外し、スタンドアロンストラップをTAQストラップから取り外す。
- TAQストラップをベルトやドロップレッグプレートに装着する。

## 2. 装着方法

## (1) ベルトへの装着方法

- ラチエットが太もも又は上腕二頭筋の真上に位置し、ナイロンベルトが外側に巻き付くように、レッグストラップの向きを調整する。



- 尻又は肩のラインに沿うように、下部ストラップをレッグストラップに取り付ける。

●スタンドアロンストラップのスロットの切れ目にナイロンベルトを差し込む。



●ゴムバンドをスタンドアロンストラップの後にスライドさせる。



●ナイロンベルトをスタンドアロンストラップのスロットのもう片方の切れ目に差し込み、ラチエットが太もも又は上腕二頭筋の前側に留まったまま、ベルトが尻又は肩のライン上にくるよう位置を調整する。

- 上部ストラップが体に装着されている状態で、ベルトやショルダーストラップに取り付ける。

●上部ストラップを下部ストラップから外す。



番号	名称	機能又は動作
1)	ダイナミック・ドロップレッグプレート	銃器、テザーホルスター、懐中電灯などを取り付けるためのプラットフォーム。
2)	ミッドライド・ドロップレッグプレート	銃器を取り付けるためのプラットフォーム。

●上部ストラップのループを外す際、メスバックルは取り外さないこと。

●上部ストラップの調整スライドバックルが上、メスバックルが下になるよう、ベルト又はショルダーストラップに装着する。



●安全性を高めるため、ストラップをメスバックルのループに通す。



④ ベルトを取り付け、TAQ ストラップが尻又は肩のラインの真下に来るようする。



⑤ TAQ ストラップを脚の周りに緩く巻き付ける。



⑥ TAQ ストラップが希望の位置に収まるように、下部ストラップの長さを調整する。TAQ ストラップは、できるだけ股間や脇の下に近づけて着用することを推奨する。

●下部ストラップの端を、調整スライドバックルから外す。



●TAQ ストラップが希望の位置にくるまで、下部ストラップの端を引っ張る。



●調整スライドバックルの上側のスロットにストラップを通し、締める。



●ストラップを調整スライドバックルのもう片方のスロットに通し、所定の位置に固定する。

⑦ TAQ ストラップの締め付けを調整する。



●脚の周りに適度な締め付け感が得られるまで、オスバックル側のナイロンベルトを引っ張る。

⑧ TAQ ストラップを脚又は腕から取り外し、スタンドアロンストラップのバックルを外す。



⑨ ナイロンベルトの端を希望の長さに切断する。



⑩ ライターを使用してナイロンベルトの切断端を焼灼する。



(2)付属品・ドロップレッグプレートへの装着

① ドロップレッグプレートからレッグストラップを取り外す。



② ラチェットが大腿部の前面に位置しナイロンベルトが尻に向かって外側に伸びるように、レッグストラップの向きを調整する。



③ ドロップレッグプレートを脚に装着し、ラチェットが上を向いていることを確認し、TAQ ストラップのナイロンベルトをドロップレッグプレートのストラップスロットに半分だけ挿入する。(ストラップが通るスロットが2つある場合は1つのスロットに挿入し、スロットが4つある場合は最初の2つのスロットに挿入する。)



④ ゴムバンドをナイロンベルトに取り付け、ドロップレッグプレートの中央に固定する。



⑤ ナイロンベルトをドロップレッグプレートのストラップスロットに挿入する。



⑥ ラダーの黒と緑のグリップループにナイロンベルトを通し、ラダーのラチェット面が脚から離れた方に向き、ナイロンベルトに面していることを確認する。緑色のグリップループが黒色のグリップループ上にあり、ナイロンベルトがラダーの上にあること。



⑦ ラダーをゴムバンドに通し、ラチェットに挿入する。黒いレバーを引き、3回カチッと音がするまでラチェットを動かす。



- ⑧ グリップループの端にあるナイロンベルトのたるみを引き出し、黒のグリップループに巻き付け、緑のグリップループに戻す。しっかりと引っ張り、ナイロンベルトにラダーを固定する。



- ⑨ ナイロンベルトを調整スライドバックルの一方のスロットに通して、調整スライドバックルをナイロンベルトに取り付ける。ナイロンベルトのグリップ面が調整スライドバックルの中央に向くようにし、ナイロンベルトを調整スライドバックルの背面から前面（センターバーの隆起がある側）に配置する。調整スライドバックルを緑色のグリップループから約7.5cmの位置まで移動させる。



- ⑩ ナイロンベルトをオスバックルに通してループさせる。ナイロンベルトのグリップ面がバックルの留具側に面し、後ろから前へ通す。（中央の留具に「ROCK LOCKSTER」と記載されている側が前。）



- ⑪ ドロッププレッグプレートを太ももの好きな位置に取り付ける。  
●ナイロンベルトの端を引っ張り、TAQストラップを希望の張力まで締める。  
●TAQストラップは、できるだけ脚にフィットさせて着用する。



- ⑫ 脚からドロッププレッグプレートを取り外す。



- ⑬ ナイロンベルトの端を、調整スライドバックルに通して固定する。



- ⑭ ナイロンベルトの端を希望の長さに切断する。



- ⑮ ライターを使用してナイロンベルトの切断端を焼灼する。



### 3. 操作

#### (1) 出血時の操作方法

- ① 装着したTAQストラップより下の脚に外傷が生じた場合は、出血が止まるまでラチエットの黒いレバーを継続的に動かす。必要な場合は、標準的な応急処置の訓練/実践に従って、負傷部位の近くに別の止血帯を追加する。



- ② 黒とベージュのレバーを同時に上げて直立位置までもっていき、ラチエットの閉塞機構をロックする。



#### (2) 止血帯の解除

ラチエットの中央にあるグレーのレバーを引き戻すと、システムの張力が解放され、閉塞状態が解除される。

#### 【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- (1) 本品は生命を脅かす出血を制御することを目的としている。適用する必要がない手足への使用は、四肢の切断や神経障害のような合併症を引き起こす可能性がある。
- (2) 傷病者を保温することにより本品が隠れる場合、トリアージタグ等に装着していることを示すこと。
- (3) 四肢の断端（出血部）の止血の状態を経時的に観察すること。
- (4) 止血を行う際には、標準予防策を行った上で実施すること。
- (5) 使用後はできるだけ早く創傷部位の再評価を行い、適切な治療を行うこと。

##### 2. 不具合・有害事象

発生の可能性があり、治療が必要とされる不具合および有害事象を以下に示すが、これに限られるものではない。

###### ➤ 不具合

不適切な使用による器具の動作不良、破損

###### ➤ 有害事象

###### [装着中]

圧迫に伴う疼痛、末梢部の阻血

###### [解除後]

再灌流による不整脈または心停止、神経障害、深部静脈血栓症、筋力低下

###### [その他]

長時間の使用による四肢の切断、神経障害

#### 【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法：水濡れに注意して、直射日光及び高温多湿をさけて常温で清潔な場所に保管すること。
2. 有効期間：本品に有効期間の表記はないが、通常の保管条件で3-5年である。保管方法の項に記載されている条件で適切に保管し、定期的に状態を確認すること。劣化が確認できた場合は廃棄すること。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

##### 1. 製造販売業者

株式会社オーストリッヂインターナショナル

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区一丁目14番地20

光正第2ビル301

電話：045-470-9041（代）

FAX：045-470-9043

##### 2. 製造業者

Alien Gear Holsters（アメリカ合衆国）